

# 生活

## 令和8年度 授業改善のポイント

- 1 児童の思いや願いを実現する体験活動を充実させるとともに、表現活動を工夫し、体験活動と表現活動が豊かに行き来する相互作用を意識して単元を構成する。
- 2 気付いたことを基に考えることができるよう、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの多様な学習活動を行う。

### 気付きの質を高めるための指導の工夫

#### 【指導事例】「むかしあそびを たのしもう」内容(8) (小学校第1学年)

単元の目標：昔遊びの遊び方やコツなどを身近な人と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い、交流しようとする。

(事前) 昔遊びコーナーの設置や写真の掲示、書籍の用意など学習環境を整備する

#### 単元構想



小単元1：2年生との交流を通して昔遊びを知る

- ・ 2年生と交流する
- ・ 昔遊びを調べる
- ・ 昔遊びで遊ぶ

小単元2：交流を通して昔遊びのコツを見付ける

- ・ 地域の方と交流する
- ・ グループ内で交流し、コツを検討する

小単元3：昔遊びについて友達と伝え合う

- ・ 伝え合うための準備をする
- ・ 友達と伝え合う
- ・ 単元を振り返る

**ポイント1** 単元を通して主体的に学びに向かうことができるよう、身近な人やものとの出会いの場を適切に設定するとともに、児童が心に抱いた思いや願いを実現できるような学習活動を展開することが大切です。

#### 小単元1：2年生との交流後の場面

○児童の反応

- ・ あの昔遊びは何という遊びだろう。
- ・ 2年生はけん玉が上手だったな。私にもできるかな。
- ・ 昔遊びでもっと遊んで、上手になりたいな。

昔遊びについてもっと知りたいようですね。次の時間からは、昔遊びについて調べて、皆で遊んでみましょう。

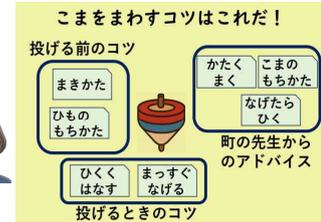


**重要** 活動や体験が、教師の指示からではなく児童の思いや願いから始まるのが大切です。

#### 小単元2：グループ内での交流の場面

地域の方(町の先生)の活用は、昔遊びへの理解や人と触れ合うことのよさの発見につながるだろう。交流後、各グループでコツを伝え合う場を設定して、児童の気付きの質を高めよう。

町の先生のアドバイスと皆さんが見付けたコツを模造紙にまとめました。更に上手になるには、どうしたらよいですか？



※コツについてまとめた模造紙

ひもを真ん中から固く巻いたらいいよと、町の先生が教えてくれたんだ。そうしたら、こまが回ったよ！

固く巻いたけど、上手いかないよ。どうしたらいいかな。

町の先生が、低い位置からまっすぐ投げていたよ。私が教えてあげる。こうだよ！

…試行錯誤…

やった、できたよ。二人のコツを合わせたらこまが回った！

教えた友達が回せるようになるって、嬉しいな。

**ポイント2** 児童が、試して、見通して、工夫しながら、試行錯誤する時間を十分に保障します。また、付箋紙などを活用して気付きを可視化することで、「見付ける」「比べる」などの学習活動が進めやすくなり、新たな気付きなどが生まれることにつながります。

#### 小単元3：単元全体を振り返る場面

昔遊びを通して、2年生や町の先生、友達と交流をしましたが、どんなことが心に残っていますか。

- S1：友達が、優しくかったことです。
- S2：町の先生が、すごかったことです。
- T：どのようなところが、優しい、すごいと思ったのですか。
- S1：友達が、こまができなかった私に、動きを付けて一生懸命説明してくれたところです。とても嬉しかったです。
- S2：町の先生の真似をしたらできたところです。それを友達に教えたら、友達もできるようになりました。

**重要** 単元計画の中に身近な人と関わる場面を継続的に設定し、思いを伝え合う機会を確保することが大切です。伝え合う活動を通して、関わったり触れ合ったりすることのよさや相手のことを理解する楽しさを実感し、それを基に活動を振り返ることで、気付きの質が高まります。